



『港 防災だより』について

港地区には、防災を考えるうえで多種多様な問題が存在しております。（例：埋立地（地震に弱い）、海岸線（津波に弱い）、臨海コンビナーに近接、住民の高齢化）これらの問題に対処して行く為に重要なことは、住民／企業／行政の相互理解とそれに基づく活動であります。そのためには、日頃、この三者が防災に対する情報を共有し、活動することが重要であり、その一助としてこの防災だよりを発行しております。

令和3年度 港地区総合防災訓練 実施

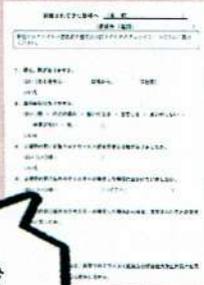
令和3年11月21日（日）

新型コロナ感染の中、感染対策を加味した訓練を11月21日（日）に実施しました。住民・関係団体・企業関係を含め約200名の参加をいただきました。

今年度は、津波避難訓練・感染症対策訓練・避難所運営訓練を指定避難所のなやプラザで行いました。



まず最初に避難者受入所で新型コロナウイルス感染症のチェックリストを用い、感染者との接触の有無や、2週間以内の渡航歴などの問診を実施。その場で体温を測定しチェックリストの内容に該当する箇所がある人は階段で2階へ、発熱者はエレベータで3階へ、健康な人は体育館へ移動しました（スクリーニングとゾーニングの訓練）。はじめて感染対策を実施したので混乱もありましたが予想より早く処理ができました。



四日市市
危機管理室作成
感染症チェックリスト

今回受付で、氏名を記入し家族カードをお渡して記入後、各町の自治会長へ提出していただきました。

家族カードの記入で避難した方のみ記入か、在宅者も含めるか混乱したため、今後は「なやプラザ」避難者カードと在宅避難者カードを分けることを検討しています。



食料物資班

避難所運営訓練はよりリアルになるよう、従来の情報班で行先の指示を出す方法から自己判断で関係先班に行くことに変更して、判断ができない場合は情報班で指示していただくことにしました。又、食料物資班は各班の物資の支給を担当し、個人の配布はしないので

避難者が直接行けない場所に設営することを検討します。（食料物資班の要望）



家族カードを記入

今回の参加者の啓発品は、非常持ち出し袋にしました。（1家族1袋）

今後の訓練参加時の啓発品を入れていただき災害時に活用していただけると幸いです。

また、参加者全員に携帯トイレを配布致しました。

これからも近所・知り合いの方を誘い、多数の参加をお願い致します。



これからも訓練を実施することで問題点・改善点を見つけ、より良い避難所運営にしていきたいと思っております。参加者皆さんの意見を、ぜひ防災隊長・自治会長を通して発信をお願いいたします。



防潮扉 閉鎖手順(尾上町;No195)

前号で掲載した防潮扉の閉鎖手順を詳しく説明します！

防潮扉 全景



道路側 ; 開扉時



海岸側



道路側 ; 閉扉時

※希望者には「港第二市民防災隊」が、開閉作業を指導します！

防潮扉 操作手順 (開放時は逆の手順で操作する)



1 海岸側で「ロック爪」を外す



2 「ロック爪」を外した状態



3 通る隙間を残して海岸側で閉める



4 道路側に出て完全に閉める



5 車輪レバーの「ロック」を外す



6 レバーの「ロック」を外した状態



7 レバーを倒し車輪を上げる



8 車輪が上がり扉が下がった状態



9 側面のレバーで扉を固定する



10 レバーの爪を防潮堤に掛ける



11 レバーを押して固定し完了

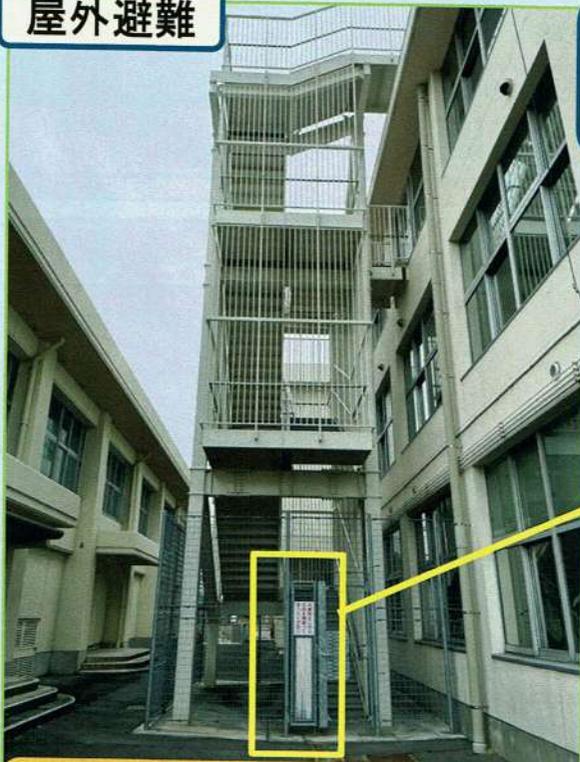


完了

車輪 : 2ヶ所 側面固定 : 4か所

なやプラザ 「非常階段」 《津波避難時の使用説明》

屋外避難



皆さまご存じの、なやプラザ内にある「屋上まで上れる津波避難時の非常階段」です。
平常時は施錠されており、使用できませんが…

災害時の使用方法は
下記の3通り！
イザッ！



1) 上の写真にあるように、蹴破って入る。
※「入る」と表記してあるが、破れたら手を入れて内側の鍵を開錠する！)

2) 洗い場に「鍵ボックス」が設置されています。**【震度5弱以上】**で自動開錠になるので、中に入っている鍵で扉を開錠する！



家族防災手帳 (p.20) に津波避難ビルの説明とともに「鍵ボックス」について記載されています。



最後に、屋内からの避難になります。

3) 屋内の3階の【会議室 4】にある「ドアを開錠」し非常階段に出る！



■ 各種総会・会議・説明会等について

◇港地区パイプライン協議会【令和4年3月10日(木)】

(三菱ケミカル株式会社、家城連合自治会長、中部地区市民センター館長)

以下の会議等は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となりました。

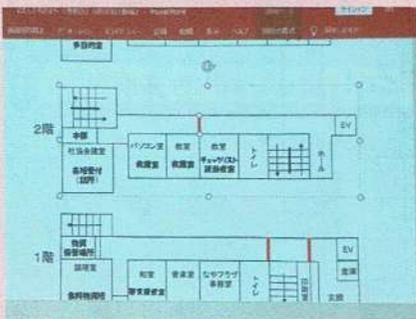
◆第15回四日市石油コンビナート沿岸地域防災連携会議【令和4年1月26日(水)】 ➡ 中止

■ 防災運営委員会

令和3年度、最後の防災運営委員会を3月10日(木曜日)に開催しました。防災運営委員会は、グループ長企業の方に輪番で出席して頂いています。委員会では「港地区の防災運営・企画」などを議題にして立案していますが、企業様については、企業としての目線で、ご意見を頂き「**港地区の防災に関わって一体となって防災活動**」に取り組んでおります。また、自主防災隊長も出席されていますが、次年度の4月には隊長・自治会長が交替される町もあるので【**防災運営委員は、5月始まり4月終わり**】になります。今後も「**港地区住民と地元企業との絆**」を絶やさずに邁進して参ります。



■ 防災マニュアル改訂委員会



「私たちのまち(港地区)の防災」マニュアルは、大きく2つに分けて《行動編》と《様式集》を企画しています。《行動編》は第一章と第二章とに分け、第一章は「住民の避難」、第二章は「災害対策本部運用について」を記載しています。現時点(3/10 マニュアル改訂委員会)では、第一章「住民の避難」は、完了しています。第二章の「災害対策本部運用について」は、前回、申しましたように問い合わせ確認等も多くあり難航しており【1.対策本部立ち上げ・避難所開設】はようやく完了(最終確認:未)し、現在【2.避難所運営】に差し掛かっています。現在「委員会」は、週1~2回、午後7時~10時の時間帯で開催しています。

■ おしらせ



令和4年3月11日(金)コスモ石油株式会社四日市製油所様より防災資機材として「プライベートテント」(5張)を、港地区連合自治会へ寄贈していただきました。着替えスペース、または配慮が必要な方が使用できるスペースなど、避難所での様々な活用方法が期待できる資機材です。ありがとうございました。



◆港地区 自治会/企業代表者会議【令和4年5月18日(水)】 予定

◆港地区自主防災組織連絡協議会 総会【令和4年6月】 予定

(新型コロナウイルスの感染状況によっては、書面決議になる場合があります。)

《防災運営委員会》	《自治会長》	《防災隊長》
家城 宏光	大野 正司	桑内 寿子
大橋 洋	大橋 洋	近藤 誠
加藤 巨	加藤 和博	鈴木 英明
清原 茂	川喜田 妙子	堤 利臣
堤 利臣	清原 茂	春木 秀茂
豊田 成彦	寺井 勝	平野 高志
藤村 まさみ	濱野 元英	藤村 洋平
水谷 哲	藤村 まさみ	水谷 哲
吉田 耕太郎	町田 光夫	山本 慶太郎
吉田 泰宣	松田 裕文	横井 輝重
	松野 郁雄	
	吉田 耕太郎	(五十音順)

《防災連携企業》			
石井燃商(株)	伊勢湾倉庫(株)	(株)エネックス	おのえ作業(株)
風薫会	協同海運(株)	九鬼産業(株)	九鬼肥料工業(株)
コスモ石油(株)	佐藤クリニック	三エスゴム(株)	JSR(株)
昭和電工ガスプロダクツ(株)	住友電装(株)	第一工業製薬(株)	
大成建設(株)	大宗建設(株)	太平洋セメント(株)	
高砂建設(株)	中部海運(株)	中部電力ミライズ(株)	
中日本建設(株)	東ソー(株)	東邦ガス(株)	東陽興業(株)
日本板硝子(株)	日本海事検定協会	日本カニゼン(株)	
日本貨物鉄道(株)	日本通運(株)	日本トランスシティ(株)	
(株)ニヤクコーポレーション	林興業(株)	三菱ケミカル(株)	
四日市海運(株)	四日市電機(株)	四日市港郵便局	(五十音順)